

# 令和2年度度社会福祉法人こばと保育園事業計画

## 1. はじめに

昨年10月から消費税10%とともに「幼児教育・保育」の無償化が始まりました。

3歳以上児給食副食費が保護者実費負担となりましたが、秋田県は全国に先駆けて副食費助成事業を実施、秋田市も令和2年度から助成を行うこととなり、秋田県全市町村助成が実現できました。

その一方、規制緩和が進み、職員配置基準改善は進まず、保育労働の厳しさが増し、東京と秋田の賃金格差が広がるなど保育の質をめぐる状況は悪くなっています。

本法人も正職員化を進めていますが、職員増員と給与の同時改善は厳しい状況にあり、大きな課題となっています。昨年度は、秋田県社会保障推進協議会と法人との意見交換、福祉保育労働組合との意見交換会を行い、秋田県市町村アンケート活動、秋田市市議会への陳情への協力を進め、広く、保育の実態を伝える活動を進めました。

## 2. 法人活動について

- ・ 保育園機能を高め、法人としての地域公益事業を模索していく。
- ・ 法人の組織的運営と体制づくり  
理事会、評議員会、法人事務局活動を進める。

## 3. 全職員正職員を見通した保育園経営を進める

### (1) 全職員で保育園、保育を支えるための環境整備を推進する

- ・ 働き続けられる労働環境、やりがいのある職場づくり
- ・ ていねいな子ども、保護者支援の向上

### (2) 全員正職員時代に向かい新たな職員配置、職員給与体系再編を進める

- ・ 委託費収入区分が上限の中で職員体制・配置、給与体系再編
- ・ 処遇改善と子どもの保育を高める課題整理
- ・ こばと、みつば2園間での園経営維持の共同と自立
- ・ 保育の現実を整理し、わかりやすく社会に伝える活動の推進

### (3) こばと保育園全面改築、みつば保育園増築計画の準備を進める

- ・ こばと、みつば設立当時の歩みを整理するために関係者との懇談を進める。

# 令和2年度こばと保育園事業計画

## 1、子どもの受け入れと職員体制

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
定員	17	17	19	19	19	19	110
4月1日	6	19	22	22	22	22	113
3月	18	20	22	22	22	22	126

0歳児 7月8人 8月10人 10月13人 12月16人 2月18人

	国基準	補助金等	計	常勤保育士	パート(常勤換算)	計
31年4月	11	4	15	19	7(4.4)	26人
3月	15	4	19	19	7(4.4)	26人
R2年予定	12	4	16	18	6(3.6)	24人

- ・職員動向 退職職員 常勤保育士1人、パート保育士1人  
採用職員 常勤保育士1人

## 2、運営方針

### 1、令和2年度運営方針

#### (1) 子どもの笑顔、笑い声の広がる保育をすすめる

- ・ 保育者自身が楽しんで遊び、子どもたちの遊びを広げる。
- ・ お散歩、園庭での砂遊びなど、自然に触れる戸外遊びを更に広げる。
- ・ 保育と給食が協力連携を強め、楽しく意欲的に食べる食事、食育を進める。
- ・ 全身を使って思いっきり遊び(リズム運動、泥んこ遊びなど)、表現活動へとつなげていく。

#### (2) 健康保険・安全危機管理能力とその対応力を高める

- ・ 気になる子どもの発達を見つめ、個別に専門機関や小学校と連携していく。  
(年2回の健康診断時に、子どもの発達・養育環境について学んでいく。)
- ・ 除去食の誤食や与薬の間違いが無いように、日々複数の目と耳で確認していく。
- ・ 毎月、避難訓練を年間計画に沿って実施、同時に安全点検も行う(防犯、不審者対応)。

#### (3) 保護者との「共育て」を進める。

- ・ 連絡ノート、クラス便り、懇談会、保育参観など保護者と「共に育ち合う」関係づくりを進める。
- ・ 療育センターなどの受診時、クラス担任も同行し、具体的な指導法を保護者と一緒に学ぶ。
- ・ 地域の親子に保育園を開放する「ほいくのつどい」と一時保育を継続する。

#### (4) 保育を語り合い、職員みんなで保育・子育てを支える職場作り。

- ・ 働きがいのある職場作り、保育を語り合う職場作りをすすめる。
- ・ 職員育成と職員研修の充実。研修計画を作成する。(福島で行われる“全国保育団体合同研究集会”にレポートを提案していくほか、多くの職員が参加する。)

# 令和2年度 みつば保育園 事業計画

## 1. 子どもの受け入れと職員体制

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
定員	7	14			19		40
4月1日	3	7	7	9	7	8	41
H31年度	(2)	(6)	(9)	(7)	(6)	(6)	(36)
3月	8	7	7	9	7	8	46
H31年度	(8)	(8)	(9)	(7)	(8)	(6)	(46)
年間延数	76	84	84	108	84	96	532
H31年度	(64)	(87)	(120)	(72)	(87)	(73)	(503)

	国基準	補助金等	計	常勤保士	パート(常勤換算)	計	
31年4月	5	4	9	11	3(1.5)	14	+5
3月	7	4	11	10	4(2)	14	+3
2年度	6	4	10	9	4(2)	13	+3

## 2. 運営方針

- (1) 子どもと保育者の笑顔、笑い声の広がる保育を進める。
  - ①保育者と子ども、子ども同士のふれあい遊びの中で、安心感と共感関係を広げる。
  - ②子どもの興味・関心・発想を生かし、体験を通して好奇心、探究心、対話力を育む。
  - ③障がい児を含む全ての子どもたちが共に育ち合う多様な関係性を豊かにし、難しいことへの挑戦する楽しさと自信を育む。
  - ④保育と給食が連携して生きる力の基礎を広げる食育を進める。
- (2) 健康保健、安全危機管理能力とその対応力を高める。
  - ①全職員が病気、感染症、食物アレルギー等の的確な対応ができるように、絶えず小児保健・医学の最新の動向を学び、必要に応じマニュアルを更新し、情報を共有する。
  - ②かみつき、取り合い、ケガ、事故への見守り、対応能力の向上を図る。
  - ③避難訓練、大規模災害、防犯、防災、事故など危機管理対応を強化する。
- (3) 保育者との「共育て」「共育ち」を進める。
  - ①保護者の不安を受け止め、安心できる関係を心掛ける。
  - ②子どもの育ち合う姿を丁寧に伝え合う。
  - ③「共育て」「共育ち」の伝統を受け継ぎ、共に考え合う姿勢を大切にする。
  - ④地域の子育て支援への参加・連携・保育園開放(みつばのひろば)の継続実施。
    - ・中央地域子育てネットワークへ参加し、地域と連携していく。
    - ・保育実習生、高校生等のボランティアの受け入れを大事にし、保育者への希望を膨らませる機会、人と人が共に関わり合う機会とする。
- (4) 保育を語り合い、職員みんなで保育・子育てを支える職場づくり。
  - ①働きがいのある職場づくり、保育を語り合う職場づくり。
  - ②職員育成と職員研修の充実。
    - ・園内研修—キャリアアップ研修会、正職員研修、2園合同研修等々。
    - ・園外研修—8分野のキャリアアップ研修等計画的な実施。
  - ③職員健康管理、メンタルヘルス、親睦の取組を進める。
- (5) 保育園の増改築について計画的に進める。
  - ①自然をより生かした園庭の整備、より快適な生活環境のため保育園の増改築を進める。